

日本視覚学会 2003 年夏季大会プログラム

期 日：2003 年 7 月 21 日（月）～7 月 23 日（水）

会 場：湘南国際村センター

- ・ポスター用パネルの大きさは 1 件につき横 120 cm, 縦 90 cm です。発表番号と表題を記載した用紙を御用意下さい。取り付け用のテープ、ピンなどは会場で準備します。発表時に必要なものがありましたら、事前に御相談下さい。
- ・特別講演, チュートリアル講演, パネルディスカッション, 視覚のデモンストレーションには液晶プロジェクター, OHP, スライドプロジェクター, ビデオ (VHS) を用意いたします。液晶プロジェクターを使用する場合は、事前に接続の確認を済ませておいて下さい。
- ・特別講演, チュートリアル講演, パネルディスカッションは国際会議場で、ポスターセッションはホワイエ (国際会議場前) で行われます。視覚のデモンストレーションは国際会議場 (説明, プロジェクターを使ったもの) とホワイエ (ポスター, 展示物を使ったもの) で行われます。

7 月 21 日 (月)

10:00	受付開始	
12:00-13:00	幹事会	
13:00-13:10	開会	実行委員長 一川 誠 (山口大)
13:10-14:30	チュートリアル講演：視覚研究の動向	座長：松宮一道 (東工大)
	色のカテゴリー性	鯉田孝和 (岡崎生理研)
	3次元動体の視覚予測	安藤広志 (ATR)
14:30-15:00	ポスター準備	
15:00-17:40	ポスターセッション 1	
18:00-19:00	夕食	
19:20-21:00	コンペティション企画：視覚のデモンストレーション	座長：佐藤雅之 (北九州市大)
21:00-21:30	世話人会	

7月22日(火)

- 9:00-10:20 チュートリアル講演：視覚研究の方法論 座長：石井雅博(富山大)
SD法を用いた視覚研究—かたちの知覚属性と感情効果の研究 和田有史(日大)
QUEST 原澤賢充(東大)
- 10:30-12:40 パネルディスカッション 座長：一川 誠(山口大)
「見せることの研究と実践：視覚の基礎研究と視覚デザインの対話」
感性印象の知覚・認知的基盤 三浦佳世(九州大)
デザインの形成と記号論的機構：見せるための表現の工夫 小林昭世(武蔵野美大)
テレビコマーシャル映像に用いられている視覚効果について 木下武志(山口大)
- 12:40-14:00 昼食, 昼休み, およびポスター準備
- 14:00-16:40 ポスターセッション2
- 17:00-18:10 特別講演 座長：櫻井研三(東北学院大)
"Vision at very low light levels and its dependence on single-photon signals in the rod pathway of the retina." John G. Robson (University of Houston)
- 18:10-19:00 夕食準備
- 19:00-21:00 懇親会

7月23日(水)

- 8:50-9:00 総会
- 9:00-10:20 チュートリアル講演：視覚研究における応用 座長：小澤 良(産総研)
高齢者の視覚研究の研究動向 佐川 賢(産総研)
ロービジョンの最近の研究動向 小田浩一(東京女子大)
- 10:20-12:40 パネルディスカッション 座長：熊田孝恒(産総研)
「注意研究の研究動向」
先行手がかりによる注意の機能と時間特性 竹内龍人(NTT CS 研)
fMRIによる注意関連領域の活動特性の検討 伊丸岡俊秀(京大)
三次元空間での視覚的注意研究が明らかにするものは何か? 木村貴彦(阪大)
- 12:40-12:50 ベストプレゼンテーション賞, ベストデモンストレーション賞発表
- 12:50-13:00 閉会 次期実行委員長 下野孝一(東京商船大)

ポスターセッション P1

発表時間は 21 日 15:00 ~ 17:40 です。

ポスター掲示は 21 日 14:30 ~ 15:00 の間にお願いします。

責任在籍時間は、ポスター番号奇数 15:00 ~ 16:20, ポスター番号偶数 16:20 ~ 17:40.

ポスター撤収は 22 日 13:00~13:30 の間にお願いします。

- P1-01 Visual field mapping of the occipital cortex using Optical Topography
中野珠実, 神谷之康, 多賀巖太郎 (東大)
- P1-02 硬膜動静脈奇形症例における事象関連機能的磁気共鳴画像法による視覚野の反応
仲泊 聡 (東京慈恵医大), 所 和彦 (神奈川リハ病院), 北原健二,
三崎将也, 宮内 哲 (通総研), 岡本 淳 (シーメンス旭)
- P1-03 フラッシュ刺激に誘発される MEG に周辺の運動刺激が与える影響
天野 薫, 武田常広 (東大)
- P1-04 円弧刺激を用いた視野統合における低次視覚野活動の解析 - fMRI 研究 -
番 浩志 (京大), 福永雅喜 (明治鍼灸大, NIH), 中越明日香 (明治鍼灸大),
山本洋紀 (京大), 田中忠蔵, 梅田雅彦 (明治鍼灸大), 江島義道 (京大)
- P1-05 プルフリッヒ効果を用いた色の信号伝達特性の推定
石井雅博, 田村弘樹, 唐 政 (富山大)
- P1-06 カテゴリカル色知覚による多色刺激の分離
横井健司, 内川恵二 (東工大)
- P1-07 色恒常性を考慮したカテゴリカル色知覚モデル
矢田紀子, 長尾智晴 (横浜国大), 内川恵二 (東工大)
- P1-08 中国語と日本語によるカテゴリカルカラーネーミングの比較
党 兵, 横井健司, 内川恵二 (東工大)
- P1-09 色度分布の違いによる背景からの形状抽出
永井岳大, 横井健司, 内川恵二 (東工大)
- P1-10 実環境下での色順応の反対色レベルにおける非線形特性
栗木一郎 (NTT CS 研)
- P1-11 色彩と物体の非典型的組み合わせによる心理効果 II 色相, 彩度, 明度の典型性による効果
沖 美穂, 一川 誠 (山口大)
- P1-12 色彩の見かけ上の重さ - 色相と彩度の影響について -
篠原久美子, 木下武志, 一川 誠 (山口大)
- P1-13 輝度情報と色度情報を処理する色運動メカニズム
吉澤達也 (金沢工大/McGill Univ./New York Univ.), 河原哲夫 (金沢工大)
- P1-14 時間的 2 刺激光の検出閾値への網膜偏心度の影響
増田 修, 内川恵二, 横井健司 (東工大)

- P1-15 Minimum Flicker Frequency および Minimum Subjective Contour に及ぼす色順応の効果
石坂裕子, 大屋和夫, 高橋晋也, 荒川圭子 (名古屋大)
- P1-16 Modeling for color appearance in mesopic vision
JaeChul Shin, Naoki Matsuki, Kumiko Kikuchi, Hirohisa Yaguchi, Satoshi Shioiri (Chiba Univ.)
- P1-17 直交2軸モデルによる不均一色弁別メカニズムの解析
打田武俊, 内川恵二, 横井健司 (東工大)
- P1-18 周辺視ドリフト錯視の現象的特性
北岡明佳 (立命館大), 蘆田 宏 (京大)
- P1-19 カニツァ縮小錯視への両眼補正機構の関与: 両眼網膜像差量と遮蔽物の方位の効果
光藤宏行, 中溝幸夫 (九州大)
- P1-20 カニツァ縮小錯視に及ぼす遮蔽面の色の効果
石田利恵 (九州大), 須長正治 (九州芸工大), 中溝幸夫 (九州大)
- P1-21 3次元的呈示による幾何学的錯視の奥行き依存性の測定—マッチング法を用いて—
山本哲也, 山本洋紀, 江島義道 (京大)
- P1-22 主観的輪郭図形に対する持続的注視の認知反応時間に及ぼす影響
近藤あき (京大), 小島治幸 (金沢大)
- P1-23 フーリエ成分がカフェウォール錯視を引き起こす証拠
谿 雄祐, 丸谷和史, 佐藤隆夫 (東大)
- P1-24 盲点において補完された線分の長さの知覚
伊地知郁江, 蘭 悠久, 中溝幸夫 (九州大)
- P1-25 物体の大きさ変化検出閾に及ぼすオブジェクトフローの効果
瀬川かおり, 氏家弘裕 (産総研), 岡嶋克典 (防衛大), 斎田真也 (産総研)
- P1-26 知覚的ずれを用いた初期視覚系における時間と距離の互換性の検討
丸谷和史, 佐藤隆夫 (東大)
- P1-27 光学的変換視野における大きさと距離の知覚
東山篤規 (立命館大)
- P1-28 視覚系と身体運動系による歩行運動での時間・距離・速度の知覚
山崎 校, 東山篤規 (立命館大)
- P1-29 知覚している大きさを表現する画像生成手法
長田和美, 長 篤志, 木下武志, 一川 誠, 三池秀敏 (山口大)
- P1-30 空間周波数要素の位相ずれに基づく面の知覚
河邊隆寛 (九州大/学振), 三浦佳世 (九州大)
- P1-31 人工照明下における表面材質の認識
竹内龍人 (NTT CS 研), 松岡裕人 (NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)
- P1-32 陰影による空間形状知覚に用いられる物体滑らか形状仮定の性質
澤田忠正, 金子寛彦, 松宮一道 (東工大)
- P1-33 左右視野間の広範囲に渡る視覚学習: 反転眼鏡を使った心理物理学研究
田中靖人, 宮内 哲, 伊丸岡俊秀, 三崎将也, 松本絵里子 (通総研), 太城敬良 (大阪市大)

ポスターセッション P2

発表時間は 22 日 14:00 ~ 16:40 です。

ポスター掲示は 22 日 13:30 ~ 14:00 の間にお願いします。

責任在籍時間は、ポスター番号奇数 14:00 ~ 15:20, ポスター番号偶数 15:20 ~ 16:40.

ポスター撤収は 23 日 8:20~8:50 の間にお願いします。

- P2-01 アテンションシフト時の Biological Motion 知覚における事象関連電位計測：
colored biological motion による検討
平井真洋, 福島宏器, 千住 淳 (東大), 開 一夫 (東大/PRESTO)
- P2-02 サッカー時の刺激変位検出における注意の影響
水科晴樹 (高知工大), 内川恵二, 横井健司 (東工大)
- P2-03 自動車運転時の視野背景上に呈示された刺激検出に及ぼす視覚的注意の影響
寺田昌弘, 横井健司, 内川恵二 (東工大)
- P2-04 注意による CV と OKN の変化
井上明人, 高瀬正典, 岡嶋克典 (防衛大)
- P2-05 位置記憶に依存しない空間的注意の空間的記憶への影響
下村智斉, 森 孝行 (中京大)
- P2-06 運動定義の部分と輝度定義の部分からなる傾きの視覚探索
一属性毎の傾き探索難易度の差および刺激立ち上がり時間差の影響—
森田ひろみ (筑波大), 熊田孝恒 (産総研)
- P2-07 時間周波数特性への注意の影響
小川昌之, 田中ひろみ, 松原和也, 塩入 諭, 矢口博久 (千葉大)
- P2-08 動きの方向と速さに対する選択的注意：事象関連脳電位に関する研究
野口隆広 (慶應義塾大), 河西哲子, 熊田孝恒 (産総研),
藤井 健, 川嶋弘尚 (慶應義塾大)
- P2-09 ネッカーキューブの奥行き知覚における意識的注意と注視の効果
松浦彩乃, 一川 誠 (山口大)
- P2-10 Flash lag effect by a moving object with motion-in-depth
Himali Seekkuarachchi, Masahiro Ishii, Hiroki Tamura, Zheng Tang (Toyama Univ.)
- P2-11 相対運動および絶対運動の検出課題における等価雑音
村上郁也 (NTT CS 研)
- P2-12 単眼提示刺激の拡大・縮小運動による輻輳眼球運動
小澤 良 (産総研/中京大), 氏家弘裕, 斎田真也 (産総研)
- P2-13 頭部及び眼球運動時における視覚的空間定位
山口大志, 松宮一道, 金子寛彦 (東工大)
- P2-14 周辺通過する接近対象の衝突時間推定
松宮一道, 金子寛彦 (東工大)
- P2-15 3次元の窓枠問題と3次元運動方向の知覚
朝倉暢彦, 近江政雄 (金沢工大)

- P2-16 Functional imaging of direction-selective responses for second-order motion
西田真也 (NTT CS 研), 佐々木由香 (マサチューセッツ総合病院 NMR センター),
村上郁也 (NTT CS 研), 渡邊武郎 (ボストン大),
ロジャー・トゥテル (マサチューセッツ総合病院 NMR センター)
- P2-17 遮蔽による見かけの運動方向の変化が運動残効におよぼす影響
中嶋 豊, 佐藤隆夫 (東大)
- P2-18 運動物体のコンピュータグラフィックス表現のための視覚刺激に対する単純反応時間解析
長 篤志, 矢澤良平, 三池秀敏 (山口大)
- P2-19 視覚運動刺激の映像酔いに対する効果と回旋眼球運動
氏家弘裕 (産総研), 阿部聖二, 鶴飼一彦 (早大), 斎田真也 (産総研)
- P2-20 HMD を使用した TV ゲームによる眼精疲労と動揺病の主観評価: ゲーム後安静の影響
鶴飼一彦 (早大), 鶴飼祐三子, 久世淳子 (日本福祉大)
- P2-21 体積感知覚を考慮したステレオビジョンシステムに関する研究 徐 征 (電通大)
- P2-22 両眼立体視における付加刺激の相対視差と時間特性
高瀬慎二, 行松慎二, 鬘櫛一夫 (中京大)
- P2-23 両眼視差と遠近法情報の統合過程における視距離の偏り学習の影響
坂野雄一, 金子寛彦, 松宮一道 (東工大)
- P2-24 垂直大きさ視差の時間統合処理特性 福田一帆, 金子寛彦, 松宮一道 (東工大)
- P2-25 単眼刺激の両眼性方向捕捉: 両眼刺激のドットの密度, 両眼刺激の大きさ及び, 単眼刺激の大きさの効果
下野孝一 (東京商船大)
- P2-26 面の傾きを考慮したステレオアルゴリズム
田中邦彦, 塩入 諭 (千葉大), 平井有三 (筑波大), 矢口博久 (千葉大)
- P2-27 3 D 空間における視覚的同時判断の知覚課題依存性 一川 誠 (山口大)
- P2-28 両眼立体視感度の空間周波数依存と視差依存
弓削公一, 李 承培, 塩入 諭, 矢口博久, 田村明洋 (千葉大)
- P2-29 感覚モダリティの違いが空間定位行動に及ぼす影響
西田佐希子 (東京医科歯科大), 黒木大一郎, 中溝幸夫 (九州大)
- P2-30 視聴覚刺激の組み合わせ方が環境の印象に及ぼす効果 政倉祐子, 一川 誠 (山口大)
- P2-31 Time-locked Perceptual Fading Induced by Visual Transients
神谷之康 (Harvard Medical School / 東大), 金井良太 (Universiteit Utrecht)
- P2-32 実世界におけるウエイファインディング能力と www 環境での情報探索能力の間の相関
近江政雄, 藤原一也 (金沢工大)
- P2-33 読書速度から読書視力を推定する試み 小田浩一 (東京女子大)
- P2-34 アパチャーを水平垂直に能動的に動かして読むときに必要な視野サイズ
川嶋英嗣, 小田浩一 (東京女子大)

コンペティション企画：視覚のデモンストレーション

発表時間は21日19:20～21:00です。

ポスターや展示物による展示の場所は当日指定いたします。

ポスターや展示物の準備は19:20までをお願いします。

投票方法は会場にてお知らせいたします。

DP-1	運動残効における順応刺激とテスト刺激	塩入 諭 (千葉大)
DP-2	眼の揺れを見る—ジター錯視	村上郁也 (NTT CS研)
DP-3	2種の運動刺激における知覚的ずれ	丸谷和史 (東大)
DP-4	正方向の運動残効など	西田眞也 (NTT CS研)
DP-5	奥行き起因運動	下野孝一 (東京商船大)
DP-6	How to erase visual objects from awareness	神谷之康 (東大)
DP-7	Reversed cafe wall illusion	谿 雄祐 (東大)
DP-8	臨界文字サイズと文字の読みやすさ	小田浩一 (東京女子大)
DP-9	前庭動眼反射の視覚による抑制：水平と回旋眼球運動の比較	鶴飼一彦 (早大)
DW-1	動く錯視はこんなに危ない	北岡明佳 (立命館大)
DW-2	空間知覚手がかりの矛盾	金子寛彦 (東工大)
DW-3	照明光の色による物体の色の見えのシフト	栗木一郎 (NTT CS研)
DW-4	フリップブックを使った視覚的時間錯覚	島田卓也 (日本科学未来館), 福田 桂 (maf*maf), 一川 誠 (山口大)